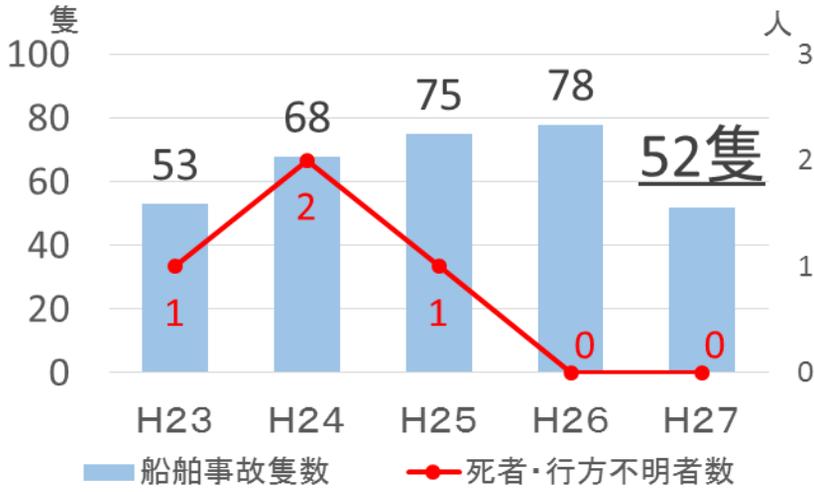
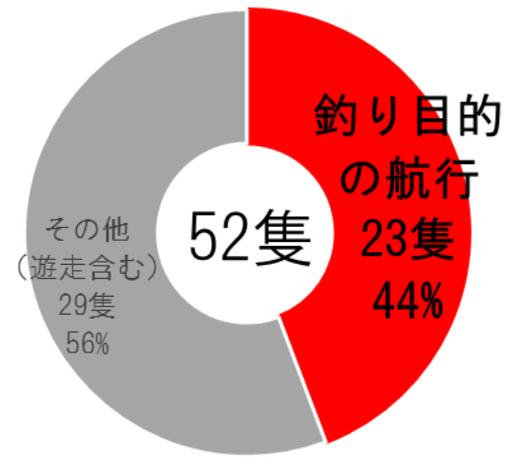


船舶事故の傾向

5年間の事故隻数及び死者・行方不明者数の推移

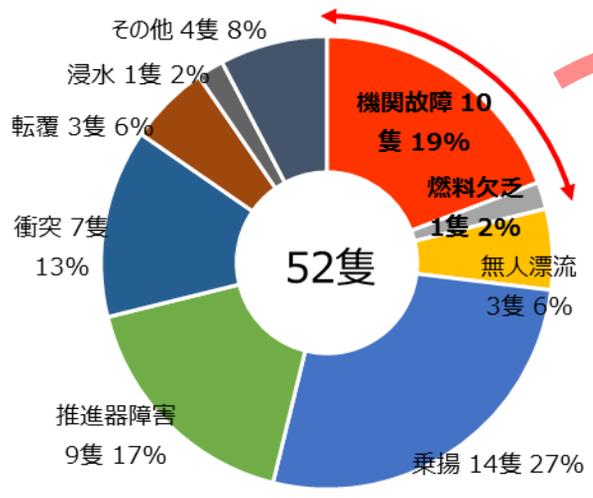


航行目的別事故割合

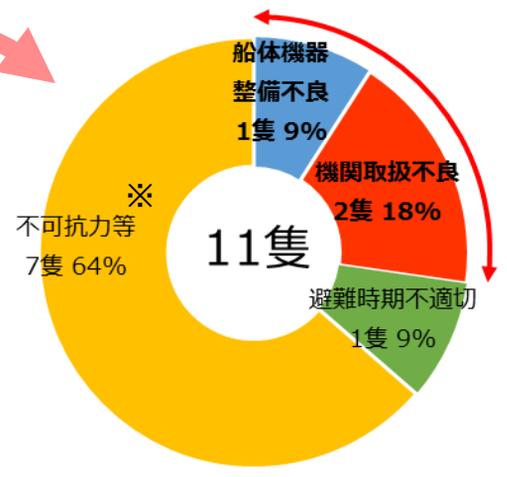


- ① ゴールデンウィーク中の事故は増加傾向にあったが、H27年は減少した。
- ② 依然として釣り目的の航行での事故が多く、4割を超えている。

機関故障、燃料欠乏 21%



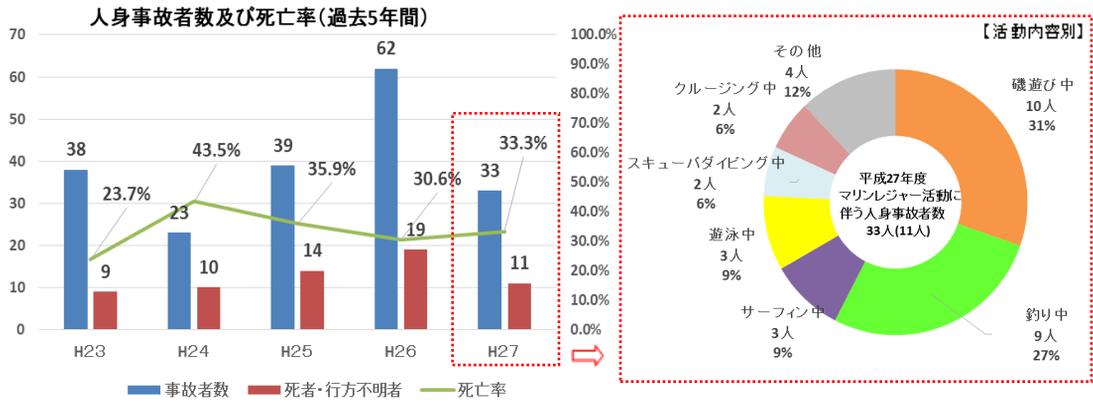
機関取扱不良、船体機器整備不良等 27%



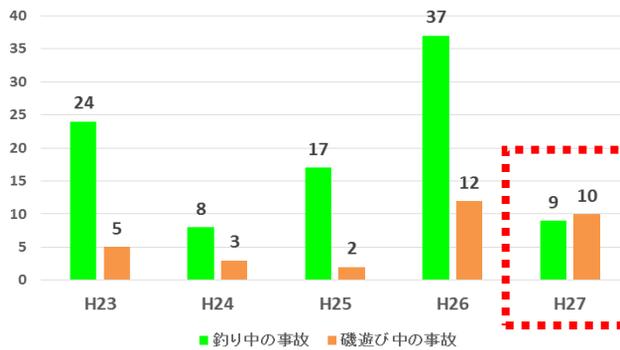
※ 不可抗力等:発航前の点検や整備では発見できない原因による事故など

- ③ 船舶事故のうち、機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏が全体の約2割である。
- ④ これらの主原因は、機関取扱不良、船体機器整備不良などの発航前点検等の不備が約3割である。

人身事故の傾向

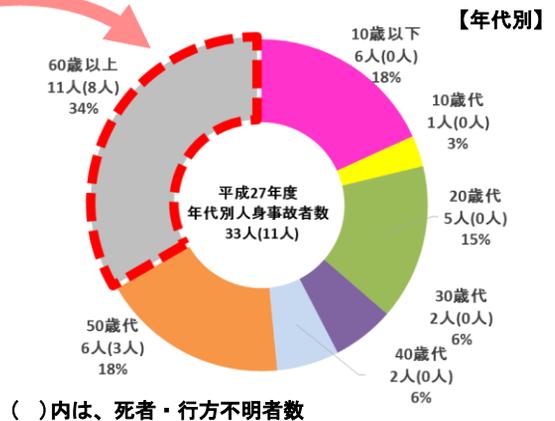
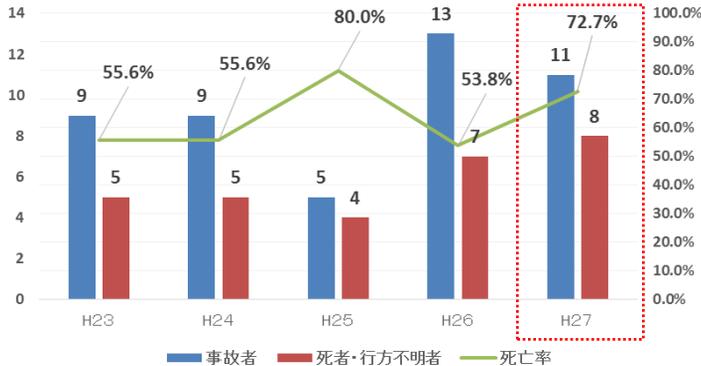


釣り中及び磯遊び中の人身事故者数(過去5年間)



- ① 人身事故者数は33人、うち死者・行方不明者は11人であった。
- ② 活動内容別では、磯遊び中(10人)、釣り中(9人)で全体の半数以上を占めている。
- ③ 本年度は釣り中(9人)よりも磯遊び中(10人)の事故が多く発生した。

60歳以上の人身事故者数及び死亡率(過去5年間)



- ④ 年代別では、60歳以上が11名と多く、死亡率も約7割と高い。
- ⑤ 過去5年の統計でも、60歳以上の死亡率は高い。

【事故事例】

<磯釣り中>

事故者は、磯釣り中に足を滑らせ海中転落したが、ライフジャケットを着用しており、岩場から海中に伸びたロープに掴まり救助を待ち、45分後に救助された。

<海浜事故>

砂浜で遊んでいた男の子が溺水。母親は家族等12名でバーベキュー等をしなが、男の子を見張っていたが、母親が目を離れた隙に事故にあったもの。発見者の通報でライフガードにより救助された。